

第1回 SSH 講演会

昨年度まで行われていた土曜ALに代わり、今年度から SSH 講演会を行うことになり、第1回目を7月11日(木)に実施しました。生徒の主体的な学習を支援する取組ですが、今回は生徒の探究的な学びや進路選択の一助となるような8つの講演を企画しました。今号では、その様子を紹介します。

- ① 講演名：「群馬県庁の仕事について
(化学職を中心に)」
講 師：群馬県庁化学職 梶塚 義則 様
- ② 講演名：「日本の宇宙開発と JAXA の役割」
講 師：NPO 法人宇宙アドバイザー協会
富永 和江 様



講演①の様子



講演②の様子

- ③ 講演名：「国際紛争を平和的に解決する
一法による紛争解決を中心に」
講 師：群馬県立女子大学 鈴木 悠 様
- ④ 講演名：「私たちの食の選択とリスクを
昆虫食を通して考える」
講 師：株式会社 FUTURENAUT
CEO 櫻井 蓮 様



講演③の様子



講演④の様子

- ⑤ 講演名：「建築をデザインすること」
講 師：前橋工科大学 駒田 剛司 様
- ⑥ 講演名：「人間と言語」
講 師：共愛学園前橋国際大学
丹羽 充 様



講演⑤の様子



講演⑥の様子

- ⑦ 講演名：「伝統産業と醤油と起業」
講 師：職人醤油 高橋 万太郎 様

講座名：「医療問題勉強会」(キャリアメディカル)
内 容：生徒同士による医療問題の検討



講演⑦の様子



勉強会の様子

生徒の感想

- ・県庁の仕事や仕事環境をありのままに話してもらえて、とてもわかりやすかったし、県庁の仕事について興味が湧きました。公平性や目的(県民のためになるか)という心がけは素晴らしいなと思いました。
- ・インターネットなどの情報とは比べ物にならないほど詳しい話を聞いたことで、より宇宙に興味を持つことができた。
- ・国際間の問題はひどい現状だけど粘り強く頑張っている機関・人々がいるので自分もなにか変えられたらなと思いました。
- ・昆虫食だけでなく食というものの未来を考えるきっかけになった。
- ・建築の定義が変わった。また、社会を継続させることが建築の役割であるということを知り、新たな視点が得られた。
- ・言語と文化には深い関係があり、文脈を重視するかなどの大きな違いがあるのが面白いと思った。
- ・これまでの講演会に比べて、一方的に聞いているだけではなく、質問がメインで、とても面白かった。
- ・将来の医療を担っていく人たちと真面目に話し合い、これからのならなければいけない未来像を描くことができたし、現状としてある医療問題についても詳しく触れることができてとてもいい機会になった。